

SAMPLE



フェアな価格 確かな信頼

ポリオレフィン

Polyolefins

お申し込み >

試読 >

☆RIM POLYOLEFINS INTELLIGENCE DAILY

★No. 4127 Sep 2 2024

Copyright (C) 2024 Rim Intelligence Co. All rights reserved.

—TOKYO, 18:30 JST Sep 2 2024 <Assessment Closing Time>

「リム価格」は登録商標です 登録番号・第5387777号

◎お知らせ

○季刊誌『エネルギー通信』第21号発売のお知らせ

リム情報開発は8月20日、エネルギーの「いま」をまとめて把握できる季刊誌『エネルギー通信』第21号を発行しました。今号では、政府が行っている石油・ガス・電気に対する価格激変緩和措置をまとめました。また、脱炭素化に向けた世界の動きとして、アンモニアや水素などの新燃料の動向、化石燃料のカーボンニュートラル化、脱炭素化に取り組む自動車業界の最新事情を取り上げました。『エネルギー通信』第21号でぜひご覧下さい。

『エネルギー通信』は、WEBで閲覧いただくことができます。

お申込み・お問い合わせはこちら

URL: <https://www.rim-intelligence.co.jp/contents/info/eneletter/>

エネルギー通信チーム TEL: 03-3552-2411 / Email: info@rim-intelligence.co.jp

◎リムエネルギー総合指数22種(レックス22、2010年平均=100)

2日のレックス22は、先週末から2.19ポイント上昇し167.22です

リムレポートのご紹介

リム情報開発のレポートラインアップは、下記のURLからアクセスください。各レポートのサンプルに加え、内容についての詳細な説明がご覧いただけます。

<https://www.rim-intelligence.co.jp/report/>

原油・コンデンセート アジア石油製品 バンカーオイル

ローリーラック(国内陸上) ジャパン石油製品(国内海上) LPG LNG

石油化学 ポリオレフィン 電力

バイオマス(週刊) デイリーデータ Rim Data File

クリーンエネルギー(週刊) CROSS VIEW軽油/重油 エネルギー通信

上記に関するお問い合わせは、TEL 03-3552-2411 E-mail info@rim-intelligence.co.jp



◎Olefins (\$/MT)			
	CFR N. E. Asia	CFR S. E. Asia	FOB Korea
Ethylene	880/ 900	940/ 990	840/ 860
Propylene	865/ 885	840/ 890	835/ 855
Butadiene	1, 450/1, 480	1, 400/1, 430	1, 440/1, 470

◎China Domestic (Yuan/MT)	
	East China
Propylene	6, 800/ 6, 900 -
Propylene (Shandong)*	- 6, 800/ 7, 000
Butadiene	12, 700/12, 800
SBR	15, 400/15, 500
BR	15, 400/15, 500

*Shandong prices refer to ex-tank assessments in the Shandong area.

◎Polymers (\$/MT)				
	CFR China	CFR S. E. Asia	China Domestic*	USD^
LDPE (Film)	1, 110/1, 130	1, 150/1, 160 -	10, 300/10, 400	1, 211 +
LLDPE (Film)	930/ 950	960/ 980	8, 250/ 8, 350	971 +
HDPE (Film)	900/ 920	950/ 970	8, 150/ 8, 200	956 +
HDPE (Yarn)	900/ 920	980/1, 000	8, 150/ 8, 200	956 +
PP (Homo) - BOPP	900/ 910	960/ 980	—	—
PP (Homo) - Yarn/INJ	890/ 900	930/ 950	7, 550/ 7, 650	889 +
PP (Block Co) - INJ	920/ 930	970/ 990	—	—

*Yuan/MT, ^USD calculated from China Domestic.

◎PVC and Feedstocks (\$/MT)			
	CFR China	CFR India	
PVC	770/780	790/800	
Ethylene Dichloride	310/320	—	
Vinylchloride Monomer	660/670	—	

◎Weekly & Monthly Average**				
	26. Aug - 30. Aug	Aug Ave.	26. Aug - 30. Aug	Aug Ave.
Ethylene	880/ 900	871/ 887	940/ 990	935/ 982
Propylene	862/ 874	862/ 879	860/ 884	884/ 904
Butadiene	1, 450/1, 472	1, 477/1, 513	1, 400/1, 422	1, 427/1, 463
FOB Korea				
Ethylene	840/ 860	840/ 855		
Propylene	832/ 844	835/ 849		
Butadiene	1, 440/1, 462	1, 471/1, 498		
China Domestic*				
Propylene	6, 870/ 6, 950	6, 983/ 7, 052		
Propylene (Shandong)	6, 870/ 6, 980	6, 896/ 6, 974		
Butadiene	12, 560/12, 680	12, 340/12, 436		
SBR	15, 040/15, 180	14, 790/14, 910		
BR	14, 760/14, 860	14, 424/14, 533		
CFR China				
	26. Aug - 30. Aug	Aug Ave.	CFR S. E. Asia	
			26. Aug - 30. Aug	Aug Ave.
LDPE (Film)	1, 110/1, 130	1, 132/1, 152	1, 150/1, 170	1, 190/1, 210



LLDPE (Film)	930/ 950	940/ 960	964/ 984	983/1,003
HDPE (Film)	900/ 920	916/ 936	944/ 964	952/ 972
HDPE (Yarn)	900/ 920	916/ 936	974/ 994	982/1,002
PP (Homo) – BOPP	894/ 910	903/ 928	960/ 980	974/ 994
PP (Homo) – Yarn/INJ	884/ 900	893/ 918	930/ 950	944/ 964
PP (Block Co) – INJ	914/ 930	923/ 948	970/ 990	979/ 999
China Domestic*				
LDPE (Film)	10,180/10,280	10,048/10,136		
LLDPE (Film)	8,250/ 8,350	8,290/ 8,369		
HDPE (Film)	8,120/ 8,200	8,105/ 8,179		
HDPE (Yarn)	8,120/ 8,200	8,105/ 8,179		
PP (Homo) – Yarn/INJ	7,550/ 7,650	7,540/ 7,640		
CFR China			CFR India	
PVC	776/ 786	797/ 807	800/ 810	839/ 849
Ethylene Dichloride	310/ 320	310/ 320		
Vinylchloride Monomer	660/ 670	660/ 670		

◎Spread/Olefins (\$/MT)**				
	Ethylene	Propylene	Butadiene	Naphtha
Ethylene	—	15	-575	232 +
Propylene	-15	—	-590	217 +
Butadiene	575	590	—	807 +
Naphtha	-232 -	-217 -	-807 -	—

Calculated from the price difference between each product and CFR Japan Naphtha.

◎Spread/Polyolefins & Intermediate VS Feedstocks (\$/MT)**							
LDPE (Film)	212	PP/Homo (BOPP)	30	SM	74 -	EDC	57
LLDPE (Film)	95	PP/Homo (Yarn/INJ)	20	Phenol	-353 +	VCM	155
HDPE (Film)	-16	PP/Block Co (INJ)	6	PTA	61 +	PVC	103
				MEG	30 -		

Calculated from the price difference between each product and its feedstock.

**These are reference prices and not price assessments.

◎オレフィン
○エチレン

アジアのエチレン相場は北東アジア着が880～900ドル、東南アジア着が940～990ドル、韓国積みが840～860ドルといずれも先週末から変わらず。

北東アジア着のスポット取引は10月品の商談が本格化しておらず静か。設備関連では、台湾のフォルモサ石油化学 (FPCC) が第1ナフサクラッカーの再開時期を9月末に延期した。既報のとおり、この設備は9月前半ごろの再開が見込まれていた。石油化学製品の需要が全般的に悪いことが影響したようだ。中国で石油化学設備の新增設が相次ぐなか、エチレンをはじめ多くの石化製品の採算の取

れない状態が続いている。

東南アジア市場では、タイの PTTGC が保有するエタンクラッカー (OLE2/2) は先週末までに稼働を再開したと伝えられた。この設備は既報のように8月1日から定修のため停止していた。また、インドネシアのチャンドラアスリが保有するナフサクラッカーはすでに再開し、エチレンなどについてオンスペック品の生産が確認されたようだ。この設備は既報のとおり、7月末ごろに不具合のため停止したと伝えられていた。

○プロピレン

アジアのプロピレン相場は北東アジア着が865～885ドル、東南アジア着が840～890ドル、韓国積みが835～855ドルといずれも先週末からもち合った。

北東アジア着の市場では、ファームな商談が聞かれない。外国為替市場でドルに対し人民元高となっているなか、中国需要家から輸入品に対する買い気が見られる。しかし、これら需要家はアイデアを引き上げてまで買い付けようとしめない。台湾では、フォルモサ石油化学の第1ナフサクラッカーの再開時期が9月末に延期されたと聞かれる。当初、同設備は9月前半までに再開する予定だった。

このほか、台湾中油の大林のある残油流動接触分解装置(RFCC)は9月5日に再開する予定だったが、同9日に延期されたと聞かれる。

韓国積みでは、大韓油化(KPIC)が29日に締め切った販売入札は、10月積み1カーゴのみ落札が決まっているという。

東南アジア市場では、これまで定修または不具合で稼働停止していた複数の石化メーカーが再開しており、プロピレンの供給に潤沢感が出ている。

中国国内では、華東地域相場が6,800～6,900元と先週末比25元安、山東地域相場が6,800～7,000元と同50元安。いずれも需要不振を受けた。

○ブタジエン

アジアのブタジエン相場は北東アジア着が1,450～1,480ドル、東南アジア着が1,400～1,430ドル、韓国積みが1,440～1,470ドルといずれも先週末から変わらず。

北東アジア着の市場は週明け要因で売り買いの唱えが低調。10月着が今後の交渉が中心となるが、台湾および韓国の需要家の殆どは10月までの買いをほぼ終えている。一方、売り手も販売を急いで

いない。

韓国積みはファームな商談が聞かれない。

東南アジア市場では、一部の石化メーカーが10月積みの売り物を抱えているようだが、現時点でファームなアイデアを提示していない。

中国国内では、10月以降に複数のブタジエン設備が定修入りを予定しており、先行きブタジエンの供給は減ると見られる。

◎ポリオレフィン

中国着のポリオレフィン相場はポリプロピレン(PP) Homo Yarn/Injection(Inj)が890～900ドル、BOPPが900～910ドルと先週末から変わらず。FOBベースの商談では、中国メーカー1社が売唱えとしてPP Homo Yarnを985ドル、PP Homo Injを995ドル、BOPPを990ドルでそれぞれ提示した。市場関係者によると、外国為替市場で中国の人民元がこのところドルに対して堅調となっていることから、このメーカーは売唱えを切り上げているという。

東南アジア着のポリオレフィン相場は低密度ポリエチレン(LDPE) Filmが1,150～1,160ドルと先

週末から5ドル安となった。需要が弱いことを受けた。ベトナム着の商談ではLDPE Filmで香港から再輸出された中東品に対する売唱えが1,155ドルで聞かれた。東南アジア着での成約可能な水準は1,150～1,160ドルと伝えられた。ベトナムの需要家はLDPEや直鎖状低密度ポリエチレン(LLDPE)、さらには高密度ポリエチレン(HDPE)それぞれのInjection/Moldingグレードに引き合いを入れているものの、ほかのグレードについては買い気が乏しいと市場関係者は伝えた。

◎PVCおよびPVC原料

塩化ビニル樹脂(PVC)の相場は、中国着が770～780ドル、インド着が790～800ドルと先週末からも

ち合った。北東アジアのPVCメーカーによる9月品の販売交渉は一巡しているもよう。台湾などのPVC

メーカーは9月品の商談時に販売価格を大幅に引き下げたため採算が圧迫されているようだ。ただ、今後の販売価格についても中国品の販売状況に左

右されるとみられており、相場が先行き反発するかどうかは不透明感がある。

◎国産基準ナフサ

	予想価格	C2前期比	通関	為替予想
7-9月	76,100	-5.8	702.59	152.02
	72,500	-7.2	694.49	146.24
	通関	為替予想	予想価格	前週比
7月	704.56	160.09	78,273	1,196
8月	709.24	150.18	73,920	0
9月	693.97	145.78	70,209	1,060
7-9月	702.59	152.02	74,134	752
国産基準			76,100	700
10月	692.47	146.24	70,279	-
11月	695.50	146.24	70,587	-
12月	695.50	146.24	70,587	-
10-12月	694.49	146.24	70,484	-
国産基準			72,500	-

単位：国産ナフサ、当月予想＝円/Kl、C2前期比＝円/Kg
 通関＝ドル/MT、為替予想＝円/ドル

当社推計による国産ナフサ価格試算は7～9月期が76,100円と前週から700円高となった。日本着のナフサ相場の上昇や、外国為替市場で円安・ドル高が進んだことを受けた。10～12月期は72,500円となった。

- * 試算は実施日までは最新の実績を利用、またそれ以降については直近の実績で推移すると仮定し算出。
- * 財務省貿易通関統計で発表された統計値を組み入れ、未発表の当該月については発表済みかつ最新の月と同数と仮定する。

◎マーケットニュース

○ENEOS=川崎第3トッパーと大分が稼働再開、定期修理の終了で

ENEOSの川崎製油所第3トッパー(日量7万7,000バレル)と大分製油所(同13万6,000バレル)のトッパーがそれぞれ稼働再開した。定期修理の終了を受けた。同社広報担当者が明らかにした。川崎第3は3月22日に定修入りし、8月下旬の当初予定通り8月29日に稼働を再開。5月13日に定修入りした大分も9月1日の稼働再開に漕ぎつけている。大分は当初8月下旬の再開を予定していたが、台風10号の影響で再開時期が若干押していたようだ。

直近では同社の根岸製油所(同15万3,000バレル)が9月中旬～11月中旬にかけてトッパー稼働を止める予定。定修入りを迎えるためだ。

◎お知らせ

○電力データCD・2023年度版の販売開始について

リム情報開発は、電力入札データの2023年度版CDを、7月17日から販売開始しました。初版となる2014年度版のリリース以来、各方面からご好評をいただいております電力入札データの2023年度版となります。最新版では、2023年4月から2024年3月までの1年間に、全国の公共機関が公募した電力調達について、詳細な情報を提供いたします。2023年度版は、収集件数4,071件(昨年度4,168件)で、うち比較可能なデータは2,058件(同1,000件)です。

※「比較可能データ」：予定供給量、契約電力、契約金額がそろった案件を集計(入札不調、入札条件が不明などの案件は除外)

関連記事

<https://www.rim-intelligence.co.jp/news/data/1777043.html>

お申込みこちらへ

<https://www.rim-intelligence.co.jp/contact/form/powerData.html>

○リム創業40周年記念本『エネルギーの歩み』発売のお知らせ

リム情報開発株式会社は2024年2月、創業40周年を記念し、『エネルギーの歩み』を刊行いたしました。石油メジャーの誕生から脱炭素化に至るまで、エネルギーの歴史をわかりやすくひも解くとともに、リムならではの市況解説もふまえた充実の一冊です。原油、石油製品、LNG、LPGの貿易統計に加え、年表も資料として掲載しており、業務や勉強に幅広く利用していただけます。この機会にぜひお申し込みください。

定価：33,000円(税込) ※送料が別途かかります。

お申し込みは以下のリンクから(サンプルあり)。

<https://www.rim-intelligence.co.jp/contents/info/40book/>

○OPRA原則遵守に関する検証報告書の公開

リム情報開発は2023年12月20日、証券監督者国際機構(IOSCO)により定められた石油価格報告機関(PRA)に対する原則の遵守に関しまして、合理的保証に基づく検証報告書をウェブで公開しました。当社が発刊する全ての日刊レポートが対象となります。

<対象レポート>

バンカーオイル、原油・コンデンセート、アジア石油製品(Products)、LPG、ローリーラック、ジャパン石油製品、石油化学、LNG、電力

<https://www.rim-intelligence.co.jp/contents/info/pramenu4/>

◇

※リムレポートの転送は著作権により堅く禁じられております。購読契約者である組織以外だけでなく、同契約者の組織内の他部署、支社、支店などへの転送も出来ません。本レポートの全部もしくは一部の転載も禁じられています。著作権違反が発覚した場合、違約金が発生することがあります。本レポートに記載された情報の正確性については万全を期しておりますが、購読者が本レポートの情報をを用いて行う一切の行為に関して、リム情報開発株式会社は責任を負いません。また、天災、事変その他非常事態が発生し、または発生するおそれがあり、運営が困難となった場合、レポート発行を一時的に中断する



Rim INTELLIGENCE

Polyolefins

3F Yaesudori Hata Bldg, 1 Chome 9-8 Hatchobori, Chuo-ku, Tokyo Japan
Tel:81-3-3552-2411 Fax:81-3-3552-2415 e-mail:info@rim-intelligence.co.jp

ことがあります。

事業所一覧

[東京本社]

Tel:03-3552-2411, Fax:03-3552-2415

e-mail:info@rim-intelligence.co.jp

[シンガポール支局]

Tel: (65) 6912-7359

e-mail: lim@rim-intelligence.co.jp

[北京支社]

Tel: (86) 10-6498-0455, Fax: (86) 10-6428-1725

e-mail: ma@rim-intelligence.co.jp huo@rim-intelligence.co.jp

[上海支社]

Tel: (86) 21-6760-6330/6331

e-mail:rim_sh@rim-intelligence.co.jp

お申し込み >

試読 >

(C) 2024 RIM INTELLIGENCE CO.